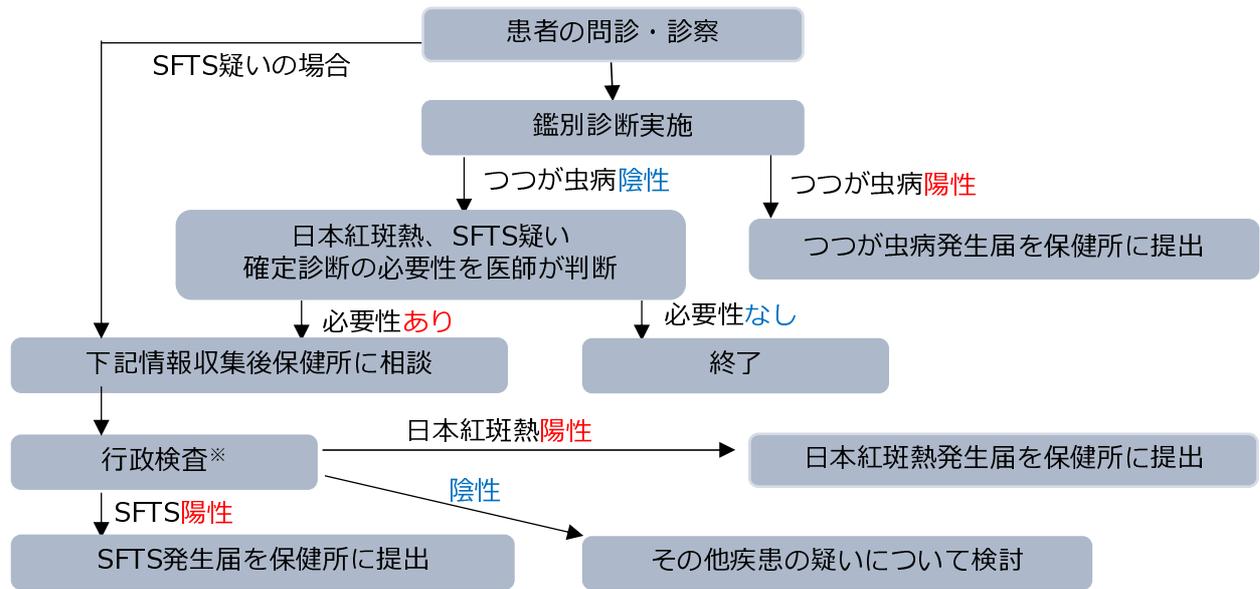


つつが虫病／日本紅斑熱／重症熱性血小板減少症候群：SFTS (ダニ媒介感染症)

4 類感染症

医療機関の対応の流れ



※行政検査は感染症法に基づく検査のため、必ずしもできるわけではありません。
★不明点がある場合には保健所にご相談ください。

届出

- 検査による**確定診断後**に診断した医師より発生届提出 (診断後直ちに)

医療機関が問診・診察時に確認する情報

- 発症日からの症状と経過

つつが虫病 (潜伏期：5～14日)	日本紅斑熱 (潜伏期：2～8日)	SFTS (潜伏期：6～14日)
刺し口は10mm程度	刺し口は10mmより小さい	発熱
発熱 (39℃以上)	発熱	全身倦怠感
発疹 (主に体幹部)	発疹 (主に四肢末端部)	頭痛
頭痛	頭痛	消化器症状 (嘔気・嘔吐・腹痛・下痢・下血)
全身倦怠感		筋肉痛
リンパ節腫脹 (刺し口近傍の所属リンパ節や全身)	全身倦怠感	リンパ節腫脹
		神経症状 (意識障害・失語)

- 患者居住地
- 現在の所在地 (入院・自宅)
- ダニに刺されたなどのエピソード (草むらでの作業・山登りなど)
- 付着したダニの有無
- 採血結果 (白血球数、血小板数、CRP、AST、ALT、LDH)
- 海外渡航歴
- 動物との接触歴 (ペット含む)
- 投与薬、投与期間
- 鑑別診断の有無
 - 薬疹／アレルギー、自己免疫疾患

接触者の健康診断 (SFTSのみ必要)

- 適切な**個人防護具 (PPE)** を着用せずに、患者の血液や体液、尿、便、呼吸器分泌物に暴露したり、呼吸器症状を誘発するケアを行った人、同室者等をリストアップし、以下確認。

- ハイリスク〔透析等基礎疾患、妊娠、免疫低下〕の有無
- 患者との接触状況 (日付、場所、接触内容) ・ 接触者の調査時の状態 (症状の有無)

- 対象者は**最終接触日を0日目として14日間**、健康観察を実施。